

第90期第2四半期 (中間)報告書

(平成25年4月 1日から)
(平成25年9月30日まで)

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第90期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業の状況等につきましてご報告申しあげます。

事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が消費者マインドの改善にともない堅調であったことと、鉱工業生産についても底堅い国内需要と輸出の持ち直し、設備投資の回復などから緩やかな回復を続けてまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車・産業機械需要に関しましても、米国自動車販売が堅調に推移していることに加え、前年度後半の在庫調整が完了し回復局面に移行したことなどから、持ち直しの動きが継続いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、収益改善への取り組みを一層強化するとともに、グローバル・リーディング商品拡販等の中期事業課題にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、需要動向は回復傾向にあるものの、売上数量が政策効果のあった前年対比では減少したこと等から、前年同期比116億1百万円減収の2,221億23百万円となりました。また、経常利益につきましては、収益改善効果および円安による為替差益が発生したこと等から、前年同期比17億29百万円増益の110億33百万円、四半期純利益は67億71百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき2円50銭とさせていただきます。

なお、通期（平成26年3月期）の連結業績予想につきましては、次のとおり前回（平成25年7月24日）発表の業績予想を修正しております。

平成26年3月期の連結業績予想

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

（単位：百万円）

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成25年3月期(実績)		440,428	15,425	16,475	10,983
平成26年 3月期	前回(平成25年7月24日) 発表予想	456,500	21,500	21,500	12,000
	今回(平成25年10月31日) 発表予想	456,500	21,000	21,500	13,500

（注）金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車および産業機械向け構造用鋼需要が在庫調整局面から反転し回復傾向を強めてまいりましたが、前年のエコカー補助金等の政策効果が剥落したことなどから、前年対比の売上数量は減少いたしました。一方、工具鋼関連需要につきましては、ASEAN向け自動車関連需要を中心に輸出が堅調に推移したことから、前年対比の売上数量は増加いたしました。

こうした需要環境のもと、当社におきましては、需要の回復に柔軟に対応しつつ、あわせてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の減少により前年同期比1.6%減少の887億34百万円となり、営業利益につきましても、エネルギーコストの上昇影響等を受けたことから前年同期比1億27百万円減益の22億63百万円となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス製品につきましては、産業機械およびHDD向け需要において前年の大幅な在庫調整の影響が解消したことから、売上高は増加いたしました。高合金製品につきましては、リードフレーム素材からの撤退等により売上高は減少いたしました。磁材製品につきましては、FAサーボモーターおよびHDD用磁石の調整が完了したことに加え、EPS向け磁石が搭載率の上昇等によって拡大した結果、売上高は前年同期を上回りました。粉末製品につきましては、HEV向け軟磁性粉末は堅調に推移しておりますが、その他の製品で一時的な調整があったことから売上高は減少いたしました。チタン製品につきましても、輸出製品の在庫調整により売上高は減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高は、ステンレスおよび磁材製品の数量は回復局面にありましたが、ニッケル・レアアース価格の値下がりに関連製品の価格が連動したことと、高合金等の製品において在庫調整等の影響があったことから、前年同期比2.2%減少の704億71百万円となりました。営業利益につきましては、ステンレス・磁材製品の数量増加と固定費圧縮等のコスト削減効果により、前年同期比13億14百万円増益の54億12百万円となりました。

自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、円安を背景として重電・プラント関連需要が拡大したことから売上高は増加いたしました。型鍛造製品につきましては、受注および生産数量は前期の調整局面から増加傾向にあるものの、前年同期対比での数量減と販売価格の見直しがあったことから売上高は減少いたしました。エンジンバルブ関連につきましても、前年対比の数量減影響から売上高は減少いたしました。鋳鋼・精密鋳造品につきましては、産業機械向け鋳鋼品は低位に留まったもののターボ関連製品が堅調に推移したことから売上高は増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、前年同期比1.0%減少の470億67百万円となり、営業利益につきましては、自由鍛造品・ターボ関連製品の売上増加が寄与したことなどから前年同期比5億23百万円増益の22億73百万円となりました。

エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、ASEAN向け工事案件等海外向け売上は順調に拡大しておりますが、前年は大型物件の工事売上が集中したことから前年対比の売上高は大きく減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンジニアリング部門の売上高は、前年同期比42.5%減少の110億92百万円となり、営業損益につきましても、売上の減少と工事案件の内容悪化があったことから前年同期比7億42百万円減益の1億円の損失となりました。

流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、不動産関係の請負工事案件が増加したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.7%増加の47億57百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比11百万円減益の7億15百万円となりました。

当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第89期上半期 (平成24/4-9)		第89期下半期 (平成24/10-25/3)		第90期上半期 (平成25/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	90,175	38.6	79,203	38.4	88,734	40.0
機能材料・ 磁性材料	72,083	30.8	64,768	31.3	70,471	31.7
自動車部品・ 産業機械部品	47,526	20.3	45,767	22.1	47,067	21.2
エンジニアリング	19,305	8.3	12,651	6.1	11,092	5.0
流通・サービス	4,633	2.0	4,312	2.1	4,757	2.1
合計	233,724	100.0	206,703	100.0	222,123	100.0

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

今後の日本経済は、好調な個人消費に加え円安を背景とした輸出の回復や各種の経済対策効果によって回復基調を続けていくとみられており、特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械関連需要に関しましても、海外需要の拡大と企業収益改善にともなう設備投資の回復によって持ち直し傾向が続いていくと思われまます。そのための施策として「2014中期経営計画」で掲げた以下の重点課題に引き続き取り組んでまいります。一方、海外市場に関しましては、欧州経済の脆弱さやASEAN、中国など新興国経済の成長鈍化など景気の下押し懸念が大きく、これらの環境変化による需要動向を注視していく必要があると考えております。また、中長期の企業環境としては、ユーザーの海外展開や現地調達化の進展、電力等の製造コスト上昇が避けられないものとなっており、これらの経営課題にも十分留意し対処していく必要があると認識しております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、“お客様へのソリューション提供”と“グローバル競争力強化”を通じた『企業体質強化』と『成長戦略の実現』を推し進め、世界最強の特殊鋼メーカーを目指してまいります。そのための施策として「2014中期経営計画」で掲げた次の重点課題に引き続き取り組んでまいります。

①ベースロード商品の抜本的事業基盤強化

特殊鋼鋼材などの基盤製品におけるグローバル競争力強化と、電力をはじめとするエネルギーコストの上昇に対処するため、現在、当社のメイン工場である知多工場製鋼プロセスの革新的合理化投資を実施しております。これにより歩留向上・省電力を中心とした大幅なコストダウンと戦略商品の生産余力創出が可能となり、グローバルサプライヤーとしての抜本的な事業基盤強化を図ってまいります。なお、当合理化投資工事は本年度下期に完工・量産開始を予定しており、投資効果の早期発現と最大化に努めてまいります。

また、事業活動の継続性、安定性のさらなる強化のため、主要生産拠点における環境整備投資を拡充するとともに、津波等の重大災害を想定したBCM(business continuity management、事業継続マネジメント)への取り組みに努めてまいります。

②大同得意商品による中長期成長戦略の実現

今後もさらなる成長が見込まれるアジア市場を中心に、差別化された大同得意商品である“グローバル・リーディング商品”の拡大を進め、成長戦略の実現を目指してまいります。そのための施策として、知多・星崎・渋川工場等の国内生産拠点において抜本的なコストダウンに取り組むとともに、ASEAN、中国、北米といった成長市場において流通・加工拠点強化等の投資を進めており、QCD競争力の抜本的な改善と成長戦略の推進を図ってまいります。

③次世代成長事業による将来成長分野の拡大

今後の需要拡大が見込まれる次世代成長事業・商品につきましては、さらなる品質・技術革新の追求とグローバル生産能力の拡充によって成長戦略を実現してまいります。なかでも今後の世界的な環境規制強化や省エネ需要の拡大、IT化の加速の中で世界的な需要拡大が見込まれる磁石事業、ターボ部品事業、粉末事業につきましては、ガイドー電子グループ、大同キャスティングス、粉末事業部等の生産能力増強の他、新規に設立した磁石製造会社インターメタリックスジャパンの生産量産立上げを推進しており、これらの施策によるさらなる事業成長を目指してまいります。

④グローバルネットワークと海外戦略の展開

海外成長市場への取り組みとして、成長市場であるアジア新興国市場に対し、当社グループによるサプライチェーン機能の強化および海外アライアンス提携会社との関係強化を図り、グローバルネットワークの拡充を目指してまいります。

⑤財務体質の強化

前記の事業戦略を通じて収益力のさらなる強化と生産効率性の向上を図り、将来にわたる安定的なキャッシュフロー創出力を獲得してまいります。そして当社グループの持続的成長力を確保するための経営資源の再投入と財務体質のさらなる強化を両立してまいります。

当社グループに与えられた使命は、より進化した製品や技術の開発を通して社会に貢献していくことと認識しております。この使命を果たすため、常に最先端の技術開発とその活用に努め、グループ一丸となって持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 嶋尾 正



四半期連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	254,934	流 動 負 債	156,485
現金及び預金	56,572	支払手形及び買掛金	72,195
受取手形及び売掛金	91,898	短期借入金	50,431
たな卸資産	98,492	1年内償還予定の社債	50
その他	8,139	未払法人税等	3,097
貸倒引当金	△168	賞与引当金	5,860
		その他の引当金	165
		その他	24,686
固 定 資 産	293,521	固 定 負 債	131,717
有形固定資産	174,152	社 債	30,000
建物及び構築物 (純額)	56,739	長期借入金	70,290
機械装置及び運搬具 (純額)	64,500	退職給付引当金	6,991
その他 (純額)	52,912	その他の引当金	1,243
		その他	23,192
無形固定資産	5,021	負 債 合 計	288,203
のれん	187	(純資産の部)	
その他	4,834	株 主 資 本	206,675
投資その他の資産	114,347	資 本 金	37,172
投資有価証券	80,975	資本剰余金	28,542
その他	33,522	利益剰余金	141,318
貸倒引当金	△151	自己株式	△357
		その他の包括利益累計額	18,355
		その他有価証券評価差額金	16,096
		繰延ヘッジ損益	9
		土地再評価差額金	1,654
		為替換算調整勘定	595
		少数株主持分	35,221
		純 資 産 合 計	260,252
資 産 合 計	548,455	負 債 純 資 産 合 計	548,455

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(平成25年4月1日から
平成25年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		222,123
売 上 原 価		187,805
売上総利益		34,317
販売費及び一般管理費		23,755
営業利益		10,562
営業外収益		
受 取 利 息	70	
受 取 配 当 金	754	
持分法による投資利益	348	
為 替 差 益	520	
そ の 他	906	2,601
営業外費用		
支 払 利 息	961	
固定資産除却損	554	
そ の 他	613	2,130
経常利益		11,033
特別利益		
固定資産売却益	745	
そ の 他	0	746
特別損失		
たな卸資産廃棄損	121	
そ の 他	4	125
税金等調整前四半期純利益		11,653
法人税、住民税及び事業税	3,120	
法人税等調整額	792	3,912
少数株主損益調整前四半期純利益		7,741
少数株主利益		970
四半期純利益		6,771

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料 ●特殊鋼鋼材加工、流通 ●原材料販売 ●運輸、物流
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> ●ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料 ●磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等） ●粉末製品（HEV用磁性粉末等） ●チタン材料製品（医療用チタン合金、形状記憶合金等） ●溶接用材料
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> ●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等） ●自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品） ●鋳鋼品（鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等） ●精密鋳造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等） ●製材用帯鋸 ●エンジンバルブ ●圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等 ●機械設備の保守管理
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ●ゴルフ場経営 ●分析事業、ソフトウェア外販事業

重要な子会社および関連会社の状況

①重要な子会社の状況

特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	※ % 67.5	商事
DAIDO PDM(THAILAND)CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万BAHT 157	※ 90.0	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園県)	百万NT\$ 141	※ 75.8	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	百万円 435	※ 96.2	特殊鋼鋼材の加工および販売、金型、金型部品の製造および販売ならびに鋼材、非鉄金属の熱処理・表面処理
DAIDO AMISTAR(M)SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	※ 89.6	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO AMISTAR(S)PTE LTD (シンガポール国)	千S\$ 3,545	※ 69.1	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
大同資材サービス株式会社 (名古屋市南区)	百万円 60	100.0	当社および子会社等への諸資材の販売
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクルならびに製鋼用原料・資材の製造および販売
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	55.0	鋼材の精整作業

機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪市中央区)	百万円 5,000	※ % 40.5	ステンレス鋼線、金属繊維等の製造および販売
タイ精線株式会社 (タイ国サムトプラカーン県)	百万BAHT 320	※ 100.0	ステンレス鋼線の製造および販売
株式会社ダイドー電子 (岐阜県中津川市)	百万円 1,490	100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	※ 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
Daido Electronics (Thailand) Co.,Ltd. (タイ国アユタヤ県)	百万BAHT 140	※ 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	百万円 297	※ 83.8	特殊鋼およびその他金属加工製品の製造および販売
大同スペシャルメタル株式会社 (東京都港区)	400	50.0	ニッケル、ニッケル合金の販売
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	80	100.0	ネジ、ボルトの製造および販売

自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同キャスティングス (名古屋市港区)	百万円 2,215	% 100.0	鑄造品、特殊鋼管材の製造および販売
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	3,018	* 51.7	エンジンバルブ等の製造および販売
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整、熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	* 79.7	圧縮機部品、ターボ部品、カップリング等の製造および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市南区)	百万円 310	* % 96.0	工作諸機械、各種機械の製造および販売、機械設備の保守、点検、修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市南区)	50	100.0	灰溶融炉設備、下水汚泥処理設備の運転・保守業務請負
大同プラント工業株式会社 (名古屋市南区)	36	64.3	工業炉の設計、製作および販売、工業炉の保守、点検、修理

流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福利厚生施設の管理運用、不動産・土木建設・保険・印刷事業等
木曽駒高原観光開発株式会社 (長野県木曽郡木曽町)	237	* 55.7	ゴルフ場の経営
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物、セラミックス等の分析・試験・調査業務の請負
株式会社スターインフォテック (名古屋市東区)	45	100.0	情報通信機器によるシステムの企画、設計、開発、保守運用受託
株式会社ライフサポート (名古屋市南区)	10	* 100.0	清掃業、警備業および給食事業等
Daido Steel(America)Inc. (米国イリノイ州)	US\$ 9	* 100.0	輸出・輸入商事

- (注) 1. *印は、間接所有の株式を含みます。
2. 機能材料・磁性材料部門の日本精線株式会社および大同スペシャルメタル株式会社は、出資比率が100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため子会社としたものであります。

②重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
理研製鋼株式会社 (東京都中央区)	百万円 485	% 38.7	特殊鋼二次製品、切削工具、工作・産業機械等の製造および販売
東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町)	827	10.0	高級特殊鋼および加工製品の製造および販売
丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区)	100	45.0	運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等
桜井興産株式会社 (名古屋市南区)	75	*43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社 (東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社 (川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

- (注) 1. ※印は、間接所有の株式を含みます。
 2. 東北特殊鋼株式会社は、出資比率が100分の20未満であります、実質的な影響力を持っているため関連会社としたものであります。
 なお、緊密な者または同意している者の出資比率は23.8%であります。

従業員の状況 (平成25年9月30日現在)

①当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特殊鋼鋼材	4,431
機能材料・磁性材料	2,008
自動車部品・産業機械部品	2,551
エンジニアリング	636
流通・サービス	827
全社(共通)	374
合計	10,827

②当社の従業員数等

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,193	38.9	17.9

株式に関する事項 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,160,000,000株
発行済株式の総数 434,487,693株
株 主 数 31,999名

①大株主の状況(上位10名)

株 主 名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
新日鐵住金株式会社	31,009	7.13
明治安田生命保険相互会社	20,759	4.77
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	17,574	4.04
株式会社みずほ銀行	15,543	3.57
日本発條株式会社	14,497	3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	14,058	3.23
本田技研工業株式会社	13,053	3.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	12,228	2.81
トヨタ自動車株式会社	8,690	2.00
全国共済農業協同組合連合会	8,671	1.99

②株式所有者別分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金融機関	175,733	40.45
国内法人	140,868	32.42
個人・その他	57,581	13.25
外国人	56,695	13.05
証券会社	2,956	0.68
自己名義株式	652	0.15

役員状況 (平成25年9月30日現在)

代表取締役会長	小澤 正俊	取締役	酒本 義嗣
代表取締役社長	嶋尾 正	取締役	西村 司
代表取締役副社長	中坪 修一	取締役	辻本 敏
代表取締役副社長	岡部 道生	取締役	志村 進
代表取締役副社長	堀江 均	取締役	松淵 周司
常務取締役	宮嶋 晃	取締役	成瀬 真司
常務取締役	板摺 康宏	取締役	武藤 大彦
常務取締役	新貝 元	取締役	平林 一彦
常務取締役	石黒 武	取締役	天野 肇
常務取締役	高橋 元	常勤監査役	古池 俊典
常務取締役	立花 一人	常勤監査役	徳岡 重信
		監査役	小澤 祐吉

- (注) 1. 酒本義嗣氏は、社外取締役であります。
 2. 徳岡重信氏および小澤祐吉氏は、社外監査役であります。
 3. 徳岡重信氏および小澤祐吉氏は、東京証券取引所および名古屋証券取引所の定めによる独立役員であります。

会社の概要 (平成25年9月30日現在)

資本金 371億7,246万4,289円

創業年月日 大正5年8月19日

設立年月日 昭和25年2月1日

主要な営業所および工場等

本社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪府中央区 福岡市中央区
工場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 粉末 渋川 王子 君津	愛知県東海市 名古屋市南区 名古屋市港区 群馬県渋川市 東京都北区 千葉県君津市
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	研究開発本部	名古屋市南区

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(http://www.daido.co.jp/)

株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
中間配当金 9月30日
期末配当金 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 土日、休日を除く
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本
店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
【アドレス】<http://www.daido.co.jp/koukoku/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理人である三井住友信託銀行株
主株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金のお支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出く
ださい。
- ・配当金受取方法のお取扱いについて
従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録
した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配
当金のお受取りや、証券会社等の口座で配当金のお受取りが可
能となっております。確実に配当金をお受取りいただくため
にも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳
しくはお取引証券会社等にお問合せください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

